



信濃美術館整備事業における設計者の選考について

1 選考方法（設計プロポーザル）

幅広く多くの者の参加を募り、参加者の実績と能力を専門家で構成する審査委員会の高度な見識で評価し、本事業に最適な設計者を選考した。

2 設計プロポーザル審査委員会

●審査委員（7名）

分野	氏名	所属・役職	備考
美術	竹内 順一	東京藝術大学 名誉教授	審査委員長
	松本 透	県民文化部 信濃美術館整備担当参与	
建築	岸 和郎	京都造形芸術大学大学院 教授	
	関 邦則	関建築+まち研究室 代表、善光寺顧問	
	谷口 吉生	谷口建築設計研究所 所長、東山魁夷館設計者	
	古谷 誠章	早稲田大学 教授	
造園	宮城 俊作	奈良女子大学 名誉教授、放送大学 教授	

●オブザーバー（3名）

長野市都市整備部長、善光寺宮繕部長、信濃美術館館長

3 審査結果

全国の33者から応募があり、最終審査対象者の代表作品現地審査や公開審査を含む4段階の丁寧かつ厳正な審査を経て、最適候補者が選考された。

※県内の設計事務所は、単独1社、県外事務所を代表構成員とするJV2者の構成員として3社が参加

○**最適候補者** (株)プランツアソシエイツ（東京都） 代表取締役 宮崎 浩

○**評価された点**（審査委員会の講評の抜粋）

- ・代表作品の完成度や機能性の高さにみられる実績
- ・提案において、敷地を取巻く条件が緻密に考察されていること
- ・今後の協議に係る柔軟な対応を含め、卓越した建築家としての技量

○**代表作品** 安曇野高橋節郎記念美術館（安曇野市）



4 今後の予定

平成 29 年 12 月下旬 基本設計完了

平成 30 年 9 月下旬 実施設計完了